

令和6年度 宮崎県立宮崎大宮高等学校

自己評価書

評価指数 4（期待以上） 3（ほぼ期待通り）
2（やや期待を下回る） 1（改善を要する）

教育方針	宮崎県教育基本方針及び宮崎県人権教育基本方針に基づき、「真理を探り、美にあこがれ、体を鍛え善を行う」活動を通して、志を高く自分に自信と誇りを持ち、ふるさとを愛するとともに柔軟な国際感覚と国家及び社会に貢献する気概と力を備えた、智・徳・体の調和のとれたたくましい人材の育成をめざす。		
学校経営ビジョン	○ よき伝統、よき校風を継承するとともに、組織的な学校運営に努め、生徒の実態や社会の変化を踏まえながら、宮崎県をリードする学校として、教育活動の計画的実践及びその評価・改善を適切に行う。 ○ 生徒の心身の成長や発達を支援できるよう安心・安全な教育環境や生徒が多様な価値観を共有でき、協働して学ぶことのできる魅力ある学校行事の運営とともに、充実した学習環境を提供する。 ○ 多様な変化を見せる社会の中で、次世代を担う生徒に求められる資質・能力を身につけさせるため、ICT機器の活用や探究的な学びなどの教育活動に取り組み、生徒・保護者・教職員がともに満足する県民に信頼される学校づくりを推進する。		
重点目標	達成手段	自己評価	関係者評価
1 教職員の洗練された高い指導力による生徒の学力向上・進路実現を目指す。	① 学びの質を高めるための、OJT等による授業改善に努める。 ② 観点別評価の再確認とテスト等の改善を行い適切な評価を行う。 ③ 個別学習やICT機器等の効果的な活用により生徒個々への的確な学習支援を行う。 ④ 生徒の実態に即した柔軟で幅広い学習指導・進路指導の充実を図る。	3.0	3.3
2 教職員が生徒一人一人に寄り添い、丁寧な支援をすることにより自主自律の精神の涵養を目指す。	① 相手を尊重する関係づくりに根ざした人権感覚、規範意識の醸成を図る。 ② 部活動や学校行事等の活性化により、表現の場の保障と心身の健康の育成を図る。 ③ 教職員が情報を共有し、共通理解と実践をもって生徒個々の心の支援に取り組む。	2.3	2.8
3 本校の教育活動と校外機関との連携により世界をリードできる人材の育成を目指す。	① 国の事業等を活用した国内外の大学等との連携による学習の充実・深化を図る。 ② 国際交流等これまで培ってきた本校ならではの教育資源の有効活用を行う。 ③ 保護者、同窓会、地域に本校の取組の周知を図り、信頼・協力関係を構築する。 ④ 戦略的広報や小中学校、塾等との連携により意欲的な生徒の確保に努める。	3.0	3.3